

諏訪之瀬島

○概 況

7 月に引き続きやや活発な活動が続いていましたが、19 日未明からはやや規模の大きい連続的な噴火が発生し、21 日まで活発な噴火活動が続きました。この活動で観測した噴火に伴う空振は空振観測を始めた最近一年間で最も大きいもので、島内では爆発音や鳴動が聞かれています。この噴火活動により 20 日には奄美大島名瀬市（諏訪之瀬島の南約 140km）で弱い降灰が観測されました。17 日から観測されていた連続的な火山性微動は 26 日には終了し、以降は落ち着いた状態となっています。

8 月の爆発的噴火の発生回数は 42 回で、このうち上記期間中の発生回数は 35 回でした。

○噴煙活動の状況

十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、噴煙の最高高度は 15 日、20 日、21 日、23 日及び 24 日の 1,000m（7 月 900m）でした（図 1、図 3）。火山灰を含む噴煙が 17 日間確認され、集落への降灰も確認されています。

21 日には海上自衛隊の協力を得て、上空から目視による観測を実施しました。噴煙は灰色で、高さは火口上約 1,500m で南に流れ、多量の火山灰を含んでいました。噴煙は平成 12 年 12 月に確認された火口から噴出している模様でした（図 12、図 13）。

○地震・微動活動の状況

8 月の A 型地震の発生回数は 8 回（7 月 9 回）でした（図 4、図 5）。また、B 型地震の発生回数は 904 回（7 月 907 回）で月を通して観測しましたが、噴火活動が活発化した 19～21 日にかけてはやや振幅の大きなものが発生しました（図 6、図 7）。爆発地震は 42 回（7 月 11 回）観測し、活動が活発化した期間に 35 回発生しています（図 8）。また、火山性微動は 904 回（7 月 907 回）観測しました。このうち、活発化した期間（19～21 日）には大きな連続した空振（12～32Pa）を伴う微動（連続的な噴火）を観測しました（図 10）。

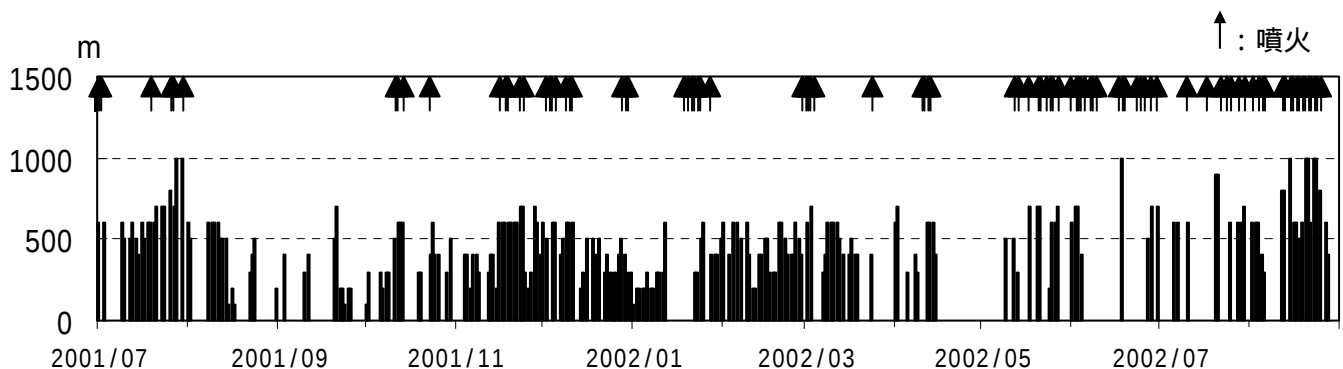


図 1 日別最高噴煙高度（2001 年 7 月 1 日～2002 年 8 月 31 日）

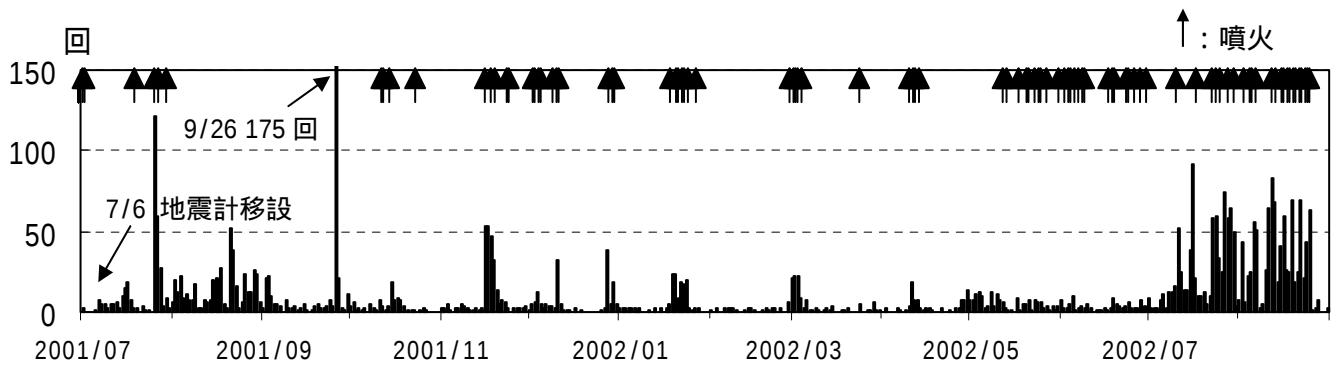


図2 火山性地震の日別発生回数(2001年7月1日~2002年8月31日)

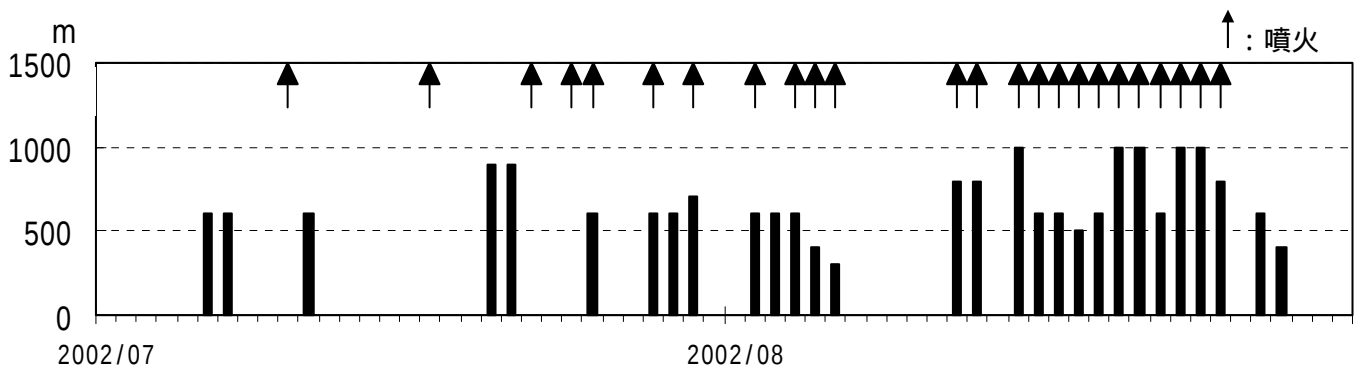


図3 日別最高噴煙高度(2002年7月1日~8月31日)

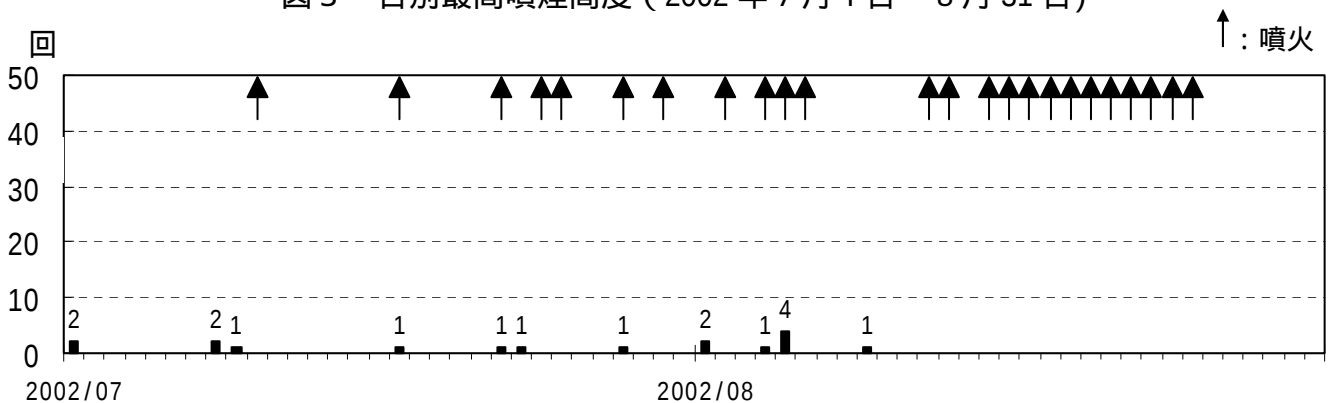


図4 A型地震の日別発生回数(2002年7月1日~8月31日)

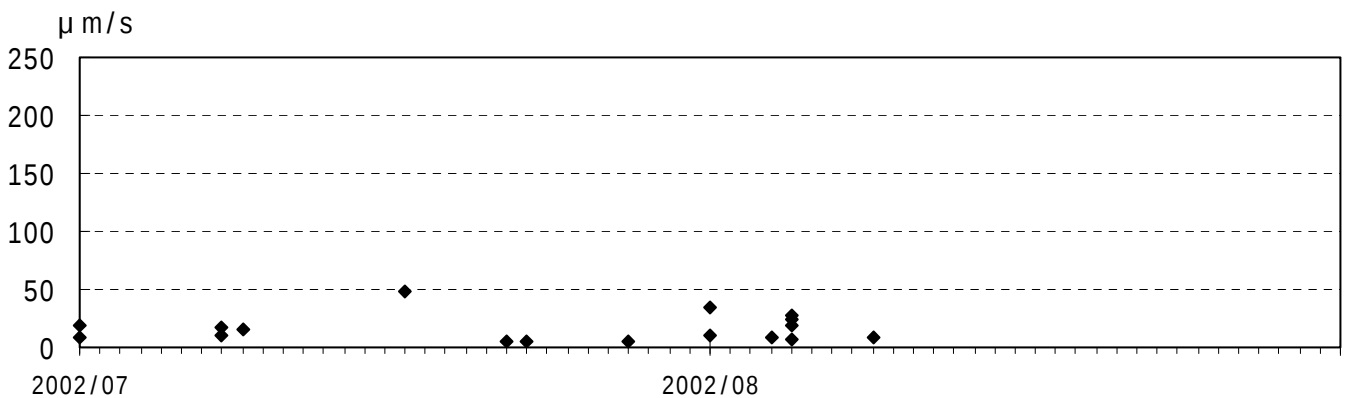


図5 A型地震の最大振幅分布(U-D成分)(2002年7月1日~8月31日)

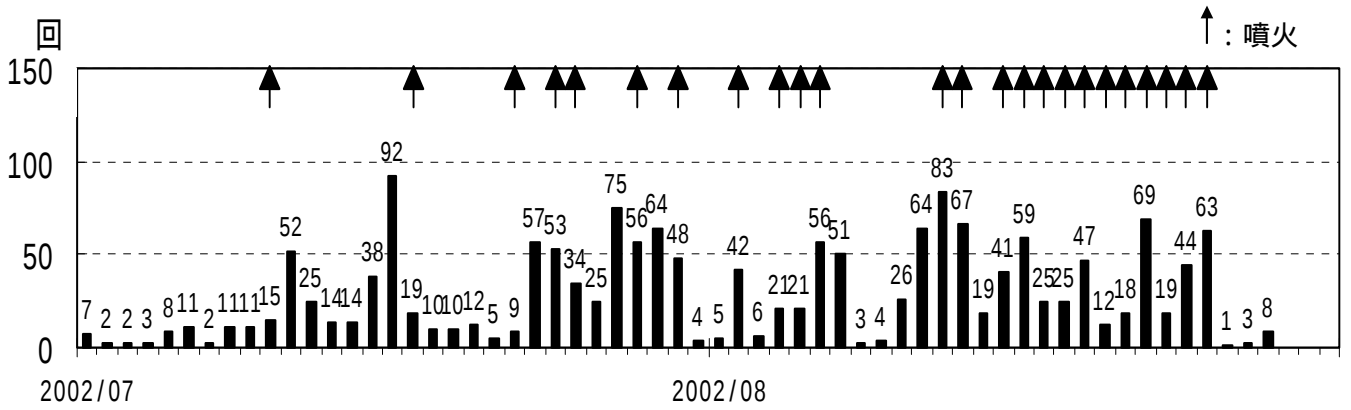


図 6 B 型地震の日別発生回数（2002 年 7 月 1 日～ 8 月 31 日）

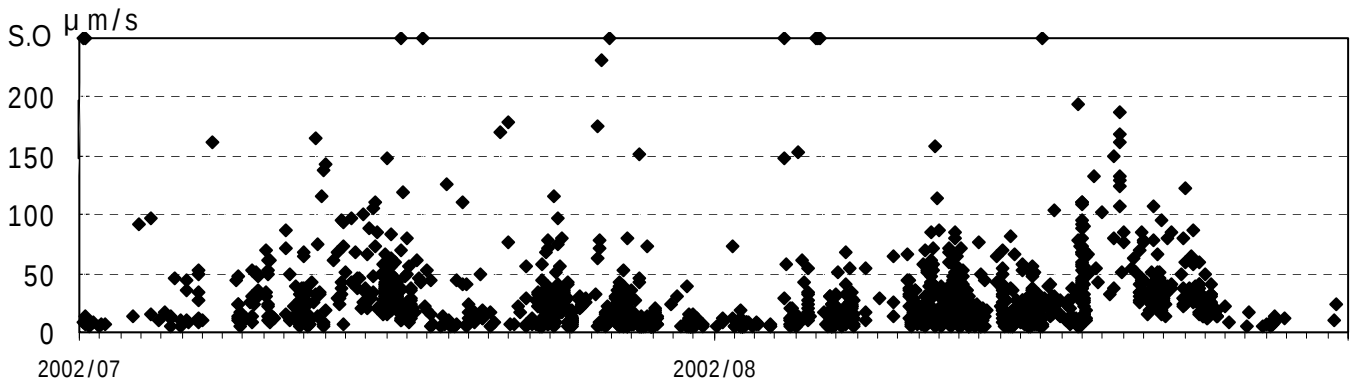


図 7 B 型地震の最大振幅分布（U-D 成分）（2002 年 7 月 1 日～ 8 月 31 日）

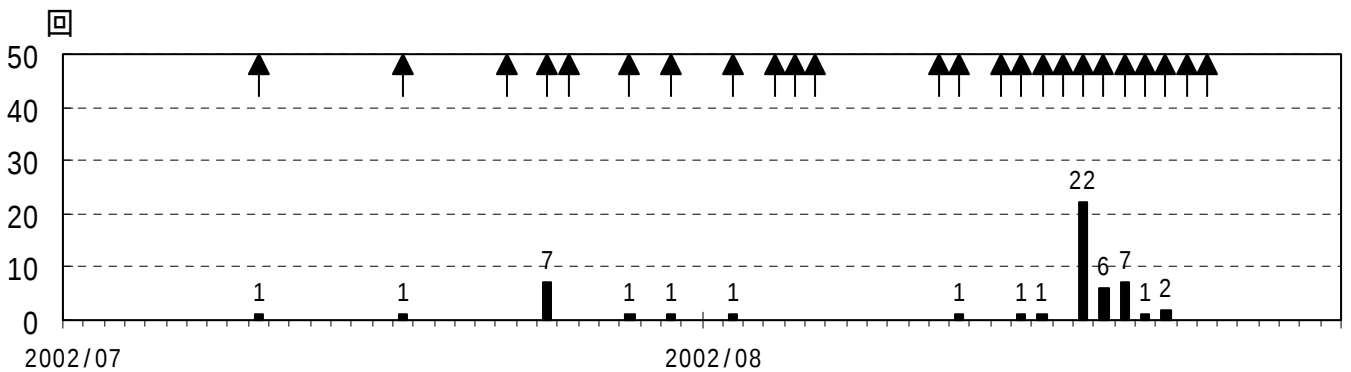


図 8 爆発地震の日別発生回数（2002 年 7 月 1 日～ 8 月 31 日）

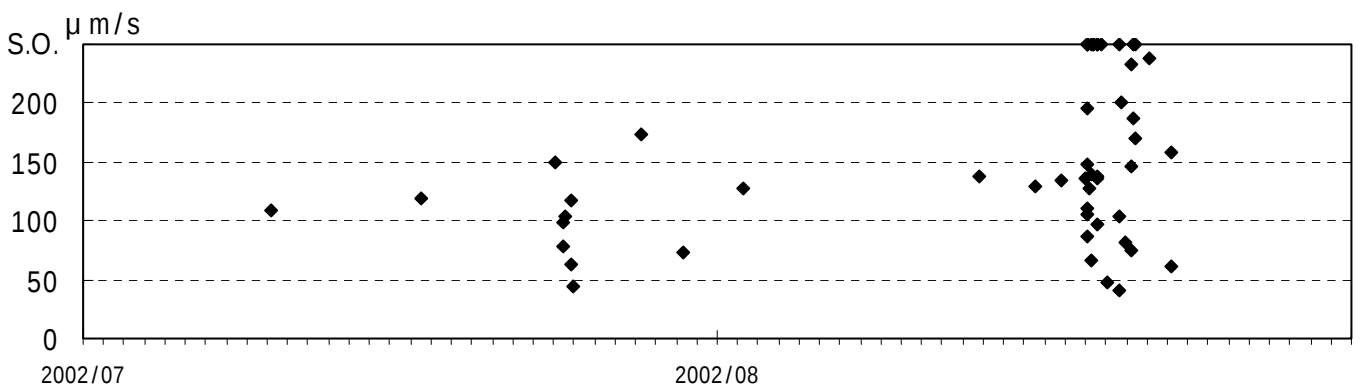


図 9 爆発地震の最大振幅分布（U-D 成分）（2002 年 7 月 1 日～ 8 月 31 日）

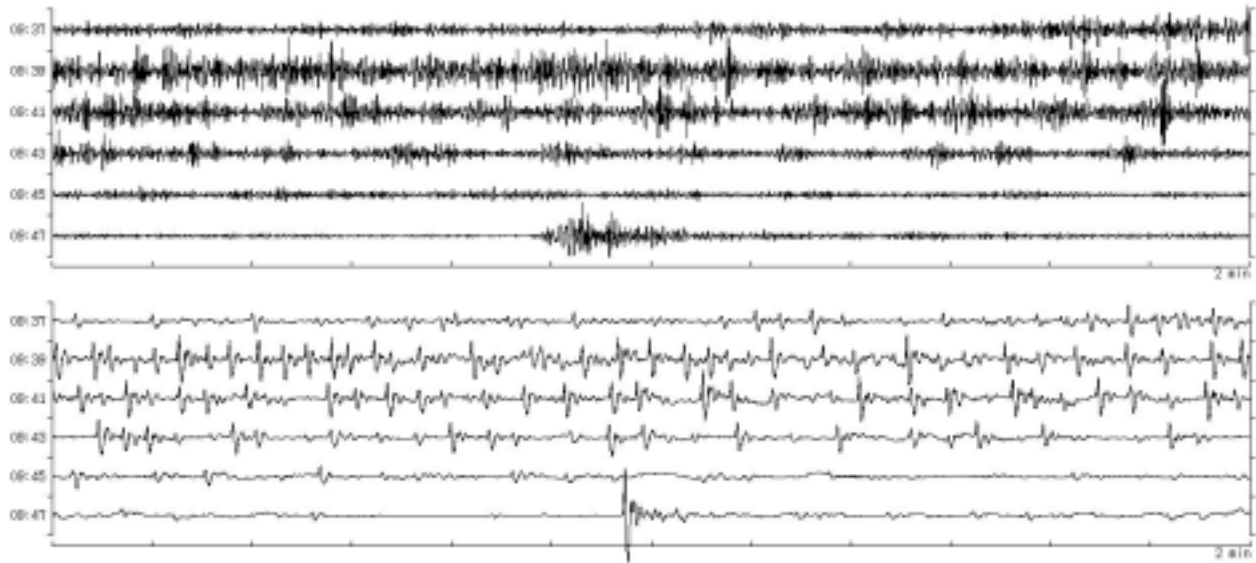


図 10 連続的な噴火の波形例（上：U-D 成分、下：空振）。8 月 19 日 09 時 47 分に発生しているやや振幅の大きいものは爆発地震。

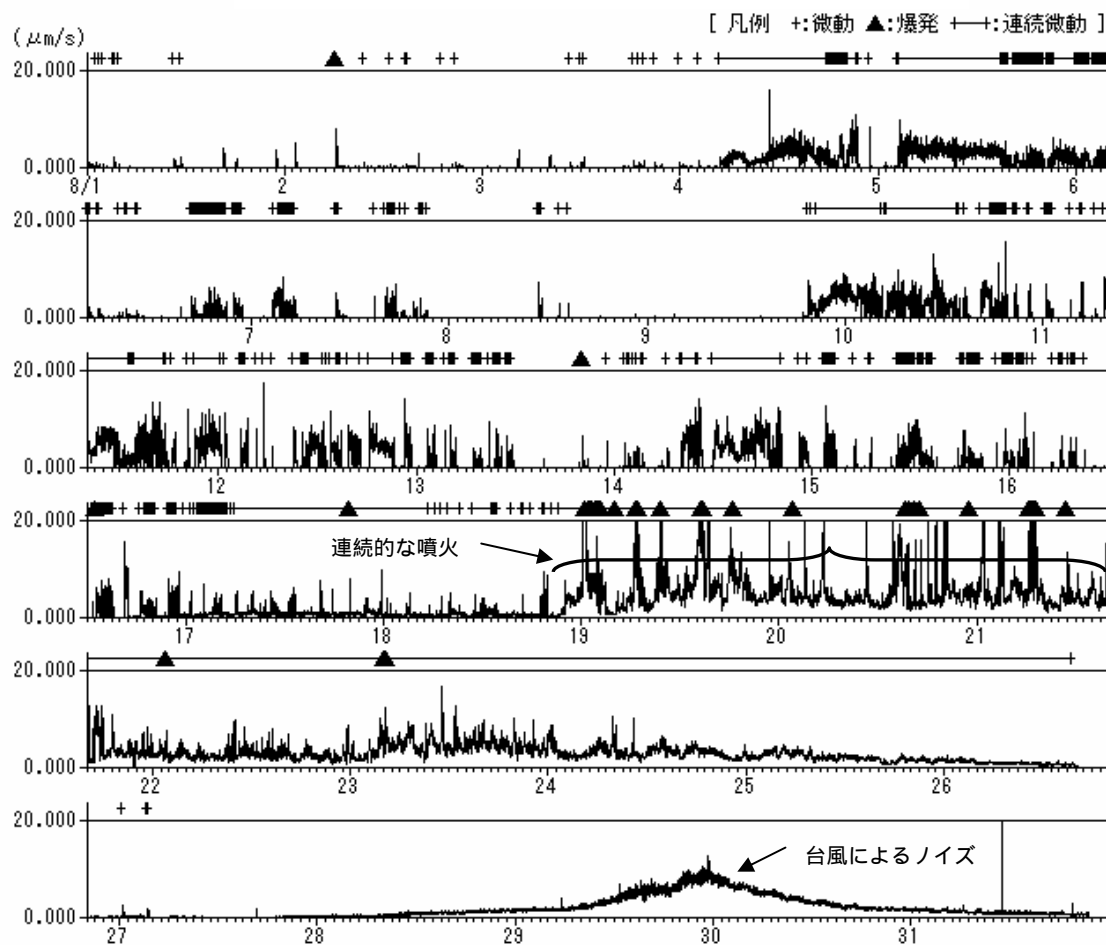


図 11 1 分間平均振幅の時間変化（U-D 成分）（2002 年 8 月 1 日～31 日）



図 12 島の北西側から撮影



図 13 島の北西側から撮影(図 12 よりやや遠方から撮影)